



整形外科

診療科の概要



当院は青森市の二次救急指定病院ということもあり、骨折をはじめとする外傷の患者さんが多く受診されます。患者さんが痛みに苦しむ期間をできるだけ短くしたいというスタッフの共通理解のもと、数多くの外傷の手術を連日行っています。健康寿命を延ばすことが我々整形外科医の使命であるとスタッフ一同考えており、腰部脊柱管狭窄症などの脊椎変性疾患や変形性膝関節症に対し、患者さんそれぞれのQOLを考慮し、患者さんやご家族とよく相談し、適切な治療を提供するよう心掛けています。手術が必要となったときは、ナビゲーションシステムを用いるなどして、できるだけ低侵襲でより正確な手術が行えるようにしています。

また、当科では膝前十字靭帯損傷や半月板損傷などのスポーツ外傷、疲労骨折などのスポーツ障害に対しても積極的に取り組んでいます。リハビリテーション室とも協力し、受傷前のレベルにスポーツ復帰できることを目標に選手をサポートさせていただいています。

外来診療担当医師

受付時間	月	火	水	木	金
午前 8:00 ～ 11:30	塚田 佐々木(規) 佐々木(静) 工藤	塚田 佐々木(規) 佐々木(静) 武田	山崎 佐々木(静) 工藤 ※12:30～13:30 (身障者外来)	塚田 山崎 武田	塚田 山崎 佐々木(規) 武田

整形外科医師のご紹介

部長兼副医療局長 塚田 晴彦

<資格>
日本整形外科学会整形外科専門医、日本スポーツ協会公認スポーツドクター、インфекションコントロールドクター、難病指定医、身体障害者福祉法第15条第1項指定医、医学博士

部長 山崎 義人

<資格>
日本整形外科学会整形外科専門医・脊椎脊髄病医、日本脊椎脊髄病学会脊椎脊髄外科指導医、身体障害者福祉法第15条第1項指定医、医学博士

部長 佐々木 規博

<資格>
日本整形外科学会整形外科専門医、日本手外科学会認定専門医、日本スポーツ協会公認スポーツドクター、身体障害者福祉法第15条第1項指定医、難病指定医、医学博士

部長 佐々木 静

<資格>
日本整形外科学会整形外科専門医、日本スポーツ協会公認スポーツドクター、医学博士

部長 武田 温

<資格>
日本整形外科学会整形外科専門医、日本スポーツ協会公認スポーツドクター、医学博士

医師 工藤 葵



ご連絡はこちらへ
(地域医療連携室)

☎ 017-734-2171 (内線7124・5110)

☎ 017-734-2177

✉ a-shimin-renkei@aomori-city-hospital.jp

当科の近年の傾向

コロナ禍で外来患者数・手術件数が一時的に減少してましたが、ほぼコロナ前まで回復しています。

例年、外傷の手術が大多数を占めていますが、脊椎や人工膝関節置換術等、変性疾患に対する手術も増加傾向にあります。

2022年4月より手外科専門医である佐々木（規）医師が赴任したことにより、東青地域の手の外傷、変性疾患の症例を多く引き受けるようになりました。

令和4年（2022年）度手術件数	978
（うち、全麻）	312
主な手術	
脊椎手術	128
上肢・手疾患	131
上肢骨接合術	129
下肢骨接合術	222
人工膝関節置換術	43
関節鏡下膝前十字靭帯再建術	40
関節鏡下膝半月板手術	32



治療から予防までチームで取り組みます

FLSチーム

できめ細やかなサービスに

2022年4月の診療報酬改定で、大腿骨近位部骨折患者に対し、「二次性骨折予防継続管理料」、「緊急整復固定加算」、「緊急挿入加算」が新設されました。

この改定後、今まで以上に骨粗鬆症治療に積極的に取り組んでおり、また骨折患者に対してより速やかに手術を行う体制を整え実施しています。さらに骨折リエゾンサービス（FLS：Fracture Liaison Service）チームを立ち上げ活動を開始しました。

FLSは二次性骨折予防に努めるチームであり、医師を中心に、看護師、理学療法士、薬剤師等、多職種で十分なサービスが提供できるよう取り組んでいます。

将来はOLSへ発展

現在は大腿骨近位部骨折患者を対象としていますが、いずれは脊椎圧迫骨折等の脆弱性骨折の患者へも対象を拡大し、一次骨折予防である骨粗鬆症リエゾンサービス（Osteoporosis Liaison Service：OLS）へ発展させていく予定です。



出典：日本整形外科学会令和元年度記者説明会（2019年9月5日）講演資料